議会報告会実施報告書

| 開催日時 | | 平成30年4月27日 18時30分 ~ 20時00分 |
|-------------|------|---|
| 開催場所 | | 市民ふれあい会館 |
| 出席議員 | | (班長) 山条忠文 (司会) 植原泰 (説明) 楠井常夫 (記録) 鳥飼年幸 (班員) 松成国宏,吉田耕一 |
| 参加市民数 | | 29人(男性14人,女性15人) |
| | 議会報告 | ・開会挨拶 ・出席議員紹介 ・予算の概要及び新規主要事業・審議内容の概要 ・質疑応答 ・意見交換会 ・閉会挨拶 |
| 実施内容 | 質疑応答 | 〈質疑〉 危険空き家の窓口を教えてほしい。 〈回答〉 共働課。 〈質疑〉 市営住宅の空き家はどういうふうに考えているのか。 〈回答〉 ほとんどの市営住宅が耐用年数を過ぎている。しかし、厳しい財政の中、修繕で対応しているのが現状。今後どうするかを即答するのは難しい。 〈質疑〉 行政代執行はするのか。 〈回答〉 まずは文書で何度か所有者に依頼するが、応じない場合は行政代執行で撤去し、撤去にかかった費用を本人に請求することとしている。支払いに応じない場合は支払われるまで当該土地を市有地として活用する。 〈質疑〉 水道局が県の企業団に移行するが、浄水場などの職員はどうなるのか。 〈回答〉 職員は企業団に属する。 〈質疑〉 もっと人件費の削減はできないか。 〈回答〉 退職者数より新規採用職員を少なく採用している。 〈質疑〉 人数を減らすのではなく、増やした方が効率的ではないか。道路工事について言えば、何回も同じところを掘っている。 〈回答〉 市民サービスの低下を招かないことが一番大事。道路の話が出たが、担当課同士では一度に工事が済むように調整している。 |